

寄付金趣意書

学校法人城西医療学園 日本医療科学大学は、「報恩感謝」を建学の精神とし、恩に報い常に感謝する気持ちを持った有為な人材を育てることを理念とし、2007年4月に開学し2017年に創立10周年を迎えました。

本学は、1984年に設立した城西医療技術専門学校を前身としており、以下に掲げる本学の4つの教育理念に基づき、豊かな人間性と確かな知識と技術を修得した医療人を今日まで輩出して参りました。

1. 人間の生命を尊重し、相互に助け合い、思いやりの精神をもち、かつ個人として自立できる人材の育成
2. 知識や技術を身につけるだけでなく、常に問題解決に向かって意欲的に取り組む人材の育成
3. 発展する社会の一員としての自覚を高め、社会科学に関する教養を身につけた人材の育成
4. 未来がどのように展開されるかを常に念頭に置き、近未来の課題を研究し、未来に向かって必要とされる人材の育成

大学開学当初は、診療放射線学科とリハビリテーション学科理学療法学専攻・作業療法学専攻の2学科2専攻でスタートし、2012年4月にはこれらの学科・専攻に加えて看護学科と臨床工学科を増設致しました。2016年3月には看護師と保健師、臨床工学技士の第1期生が卒業し、医療人として社会へ羽ばたいていった大学の卒業生の数は2017年3月までに1,569名に上り、前身の城西医療技術専門学校の卒業生2,322名を加えると約4,000名の卒業生が埼玉県はもとより全国の病院・施設で活躍しております。

今後も、本学の建学の精神および教育理念を体現し、チーム医療の中で活躍することができる高い専門性を持った医療従事者を育成することが本学の教育的使命であると考えております。その為には、中長期的な視点に立ち、教育カリキュラムの充実と言うまでもなく教育研究施設・設備の拡充にも力を入れ、2017年10月には多くの学生がサークル活動や集いの場所として利用できる体育館と学生会館の竣工、および学生グラウンドの整備を行いました。加えて、超音波装置や人口心肺装置の購入、サイボーグ型動作支援ロボットHALの導入など、教育研究機器の充実を図り高等教育に寄与しております。

今後は、国際交流により注力し、教員や学生の学術交流、海外派遣、海外研修などを通じて国際的な感性を併せ持ち、国内外で医療に貢献できるような人材を育てる教育を施して参りたいと思っております。

厳しい経済情勢のもとでのお願いとなり誠に恐縮ではございますが、教育研究施設・設備の整備は多額の資金を要する事業となることから、皆様方にご支援をお願いする次第でございます。本学の寄付金の趣意にご理解を頂き、格別なご協力を賜りたくお願い申し上げます。

2018年1月20日

学校法人 城西医療学園
理事長 新藤 宣夫